

■全部書く■

ほぼ週刊【松村拓也のメールマガジン】第 363 号

こんにちは、松村拓也です。

E-Mail と Facebook で松村拓也の活動についてほぼ毎週お届けしています。

ご意見、ご質問大歓迎です。

オンラインの議論をご希望の方は、気軽に返信ください。

.....

363 目次

1. トピックス：今日から 65 才が始まります
2. ブログより：全部書く
3. 今週のお誘い+今後の予定
4. 地主の学校・販売中
5. アクセスポイント：問い合わせ先
6. このメルマガについて

.....

1. トピックス：今日から 65 才が始まります

「トピックス」の意味は、“出来事・話題”です。

でも、それが良いことなのか良くないことなのか、わかりません。

今日 4 月 5 日は僕の 65 回目の誕生日なので、今日のトピックスに違いないのですが、果たしてそれが良いことなのかどうか、よく分かりません。

「65 才」をググってみると、「65 歳で変わる事」ということで、

- ・前期高齢者 介護保険の納付開始
- ・「後期高齢者医療の被保険者の若年認定」が可能に
- ・「失業手当」が「高年齢求職者給付金」に
- ・雇用保険は保険料率が変わらない

など、仕事を辞め、年金生活が始まる話ばかりが出てきます。

・

僕はかつて、「生意気高校生育成講座」と題し、高校を卒業(18 才)しなくても、高校生 (15 才) になったらできることを教えるセミナーをやりました。

15 歳で印鑑証明をつくれれば会社をつくれるし、16 歳で自動 2 輪の免許を取れば、どこへでも行くことができます。

この講座には、数名の高校生だけでなく、なんと高校で教える教員が一人参加して下さって僕は感動しました。でも今度は僕自身が 65 才になってできることを考える番です。

僕にとっての仕事とは、世界の面白さを味わうことなので、引退などあり得ません。

65 才だからできることを探したいと思います。

・

という訳で、今日と明日は 5 月に 66 才になってしまうカミさんと「同じ年になった記念」で京都に行きます。

なので、京都の見どころ、おススメを教えてください。

そして、65才を越さなきゃできないことがあれば、是非教えてください！！

.....

2. ブログより：全部書く

何かをしたいのに、立ち足る課題があり、それを乗り越えられないことがある。

違う道を探そうにも、疑問に取り囲まれ、八方ふさがりになることもある。

こんな時どうすればいいのか、途方に暮れる人は、一度僕を訪ねて欲しい。

僕には、その道を示したり、答えを教えることはできないが、一緒に道を探し、答え探しを手伝うことならできるから。

なぜなら、それこそが僕のやりたいことであり、僕の好きなことだから。

昨日もそんな人が現れて、この話をしたら、少なくとも次回の約束をして笑顔で別れることができた。

そこで今日は、僕のやり方・手伝い方について話しておきたい。

・

まず初めに、うまくいかなかったり失敗することは、素晴らしいことだと言っておく。

僕は自分のプロフィールに「1999年経営する建設会社の倒産経験で開眼した」と好んで書いている。

もちろん意外な書き出しで、読む人の心を掴みたいという下心も無くはないが、成功した自慢話より、失敗の体験談の方が読み手のためになるからだ。

でも実は、他人を利することにより、困った時に助けてもらうことこそが自分を利することに気付いたのが、僕の倒産経験だ。

資金が無くなり、経営が破たんしていく時、僕は毎日出社して建て主、下請け、銀行、興信所、そして暴力団に至るまで、すべての人と面会した。

それは決して勇気があるからでなく、むしろ逃げたり隠れたりすると何をされるかわからない、心配だから逃げられなかった。

でもその結果、全ての人から叱られたが、全ての人から様々なことを教わった。

素晴らしい先生を探すより、自身が素直な生徒になることで、誰もが先生になってくれることに気が付いた。

・

やがて、1か月ほどで会社は潰れたが、僕はすぐさま仕事を再開できた。

それは、起業と創業の違いに気が付いて、僕はまず創業から始めることにしたからだ。

創業とは、「初めてやること」で、仕事や会社、お店などを創業することを指す。

自分にとって初めてでも、これまで多くの人がやってきたことだ。

会社を潰したのは僕だけでなく、多くの下請けが経験し、銀行は目撃し、暴力団は関与して、建て主たちだってそれを乗り越え回避している。

僕は会社を潰すプロセスで、潰し方を知ることで潰さないやり方を学ぶことができた。

だったら、たとえ会社が潰れても、仕事を継続すればいい。

そしてその先のことは仕事をしながら考えようと思いついた。

・

渋谷のど真ん中で、会社が潰れたまま仕事を再開したので、次第に注目されるようになり、新たな受注の話まで舞い込むようになってきた。

だが、全社員を解雇し、下請けの手形や銀行の債務を踏み倒した僕には、様々な制約がのしかかった。

たとえ新たな会社を立ち上げても、僕が経営当事者にはなれず、多くの「できないこと」が山積みとなった。そこで僕は、これらの「できない」をあえて「やらない」に置き換えて、新たな会社を立ち上げた。施工以外の営業活動はやらない、施工しやすい条件の良い仕事はやらない、競争の無い予算が潤沢な仕事はやらない。

すると、施工会社を見つけられずに困っていた若手の建築家たちの間で評判となり、多くの引き合いが来て、営業せずとも仕事に困らない会社としてゆっくり成長することができた。

結果的にこれまでにない新しい建築屋を「起業」することができたわけだ。

•
このように、「創業」には教わることができる答えがあり、「起業」にはそれは無い。

つまり、誰もやっていない（かも知れない）ことをやるのなら、誰もが素人・初心者で先生や教科書がある訳ない。

それどころか、その答えを見つけても「これだ！」と言えるのは、「本人しかいない」かも知れない。

そこで僕にできることは、本人と一緒にその答えを探すこと。

もっと正確に言うと、本人の感じ・考え・やっていることから答えを探すこと。

誰だって、自分の知らないことを「これだ！」と見つけることなどできるはずがない。

本当は、感じたり、知っていたり、やっているのに「気づいていない」もしくは「説明できずにいる」だけだ。

だから僕は、相談者に対し「あなたの考えていることを 1 枚の紙に全部書いてください」ということにしている。

•
ちなみに、僕が出版した「地主の学校」は、僕の思いを 1 枚に書いた目次をそのまま本にしたものだ。

だから、この本を読んで理解できるのは僕しかいないかもしれない。

少なくとも、全部理解できるのは僕しかいないに違いない。

なので、どんどん僕に質問して欲しい。

あなたと話がしたいから、この本を書いたのだから。

<https://nanoni.co.jp/20220404-2/>

.....
3. 今週のお誘い+今後の予定

【凡例】◎：申込優先、○：申込必要、×：一般参加不可、下記以外の時間はすべて応相談

■今週の予定

(火) 04/05 旅行 (京都)

京都着 10 時、清水寺近くに宿泊予定

(水) 04/06 旅行 (京都)

京都発 15 時予定

(木) 04/07 なのに (自宅) 作業日

(金) 04/08 なのに (自宅) 作業日

交流◎：19-20 時 カプラー起業交流会 (zoom)

(土) 04/09 笑恵館 (世田谷) 作業日

交流◎：13-17 時 よろず相談会 (笑恵館)

会議×：12-14時 RYUSEN PJT (zoom)

(日) 04/10 いづみ (横浜) 作業日

交流◎：10-18時 いづみ tea&bar、PJT説明会 (いづみ)

交流◎：13-15時 角間さん来訪 (いづみ)

(月) 04/11 なのに (自宅) 作業日

会議×：13-14時 東京湾生態 MTG (反町)

会議×：15-17時 いづみ PJT 幹事会 (いづみ)

■定例の予定

月曜

火曜・第2,4 20-21時 ○LR 経営会議 (zoom)

水曜・第2 08-10時 ×AR チーム MTG (zoom)

木曜・第2 15-16時 ×かなこ PJT (zoom)

17-19時 ◎笑恵館クラブ運営会議 (笑恵館)

19-20時 ○OforW 経営運営会議 (zoom)

第3 13-18時 ◎笑恵館なるほどデイ (笑恵館)

18-20時 ○笑恵館完全持ち寄り食事会 (笑恵館)

20-21時 ○一宮庵クラブ運営会議 (成城)

第4 17-19時 ◎笑恵館クラブ運営会議 (笑恵館)

金曜・第2 19-20時 ◎カプラー起業交流会 (zoom)

土曜・毎週 09-17時 ◎よろず相談会 (笑恵館)

第1 21-22時 ×喜多見共和国 MTG (zoom)

第2 12-14時 ×RYUSEN PJT (zoom)

日曜・毎週 09-17時 ◎いづみ PJT オープンデイ、説明会 (反町)

第1 10-11時 ×100smile 会議 (zoom)

第4 10-14時 ○名栗の森オーナーシップクラブ月例会 (飯能)

■今後の予定

04/13-14 交流○：星の谷 PJT 合宿 (筑西)

04/16 交流○：みんなの裏山 清掃・現況確認 (浦賀)

05/06 交流○：地主の学校ゼミ (zoom)

05/21 交流○：みんなの裏山 下草刈り・土地整備 (浦賀)

06/19 会議×：13-16時 チャレンジアシスト P1 次審査会 (zoom)

07/10 交流○：13-16時 チャレンジアシスト P 公開審査会 (zoom?)

松村の予定はこちらで随時公開しています。

<http://nanoni.co.jp/schedule>

.....

4. 地主の学校・販売中

拙著【地主の学校】はこちら

<https://www.bungeisha.co.jp/bookinfo/detail/978-4-286-23339-0.jsp>

セミナー、読書会など気軽にご相談ください。

.....

5. アクセスポイント

松村拓也

メール takuya@nanoni.co.jp

携帯 090-9830-3669

自宅：株式会社なのに（取締役・平社員）

〒226-0016 神奈川県横浜市緑区霧が丘 3-15-1

<http://nanoni.co.jp/>

職場：一般社団法人日本土地資源協会（代表理事）

<http://land-resource.org/>

〒157-0073 東京都世田谷区砧 6-27-19 笑恵館

<http://shokeikan.com/>

主な所属団体：

特手非営利活動法人 HOME-FOR-ALL（事務局長）

<http://www.home-for-all.org/>

一般社団法人地域社会圏研究所（事務局長）

<https://localrepublic.jp/>

ユナイテッドスクールオブ東京（顧問）

<https://www.united-school.jp/>

.....

6. このメルマガについて

松村拓也とご縁のあった方に、日々の活動やブログ記事の抜粋などの情報をほぼ毎週お届けします。

参加希望、ご意見、ご質問など、何でもこのメールに返信してください。

バックナンバーはこちら

<http://nanoni.co.jp/magazine/>

メール配信をご希望の方はこちら

<http://eepurl.com/dHjgFX>

フェイスブックグループはこちら

<https://www.facebook.com/groups/atamanonaka>

まぐまぐ版はこちら

<http://www.mag2.com/m/0001693746>